

泌尿紀要  
Acta Urol. Jpn.

Vol. 32, No. 12 ACTA UROLOGICA JAPONICA December 1986

# 泌尿器科紀要

第32巻 第12号 1986年12月

尿路結石症患者および正常健康人における経口蓚酸負荷後の尿中蓚酸排泄について.....	戎野 庄一・ほか	1773
ヌードマウス継代移植ヒト膀胱癌を用いた cis-Diamminedichloroplatinum (II) を主剤とする非交差耐性同調多剤併用化学療法の研究.....	山内 民男・ほか	1781
Cisplatin 療法に伴う消化器症状に対する hydrocortisone の効果について.....	坂田安之輔・ほか	1799
前立腺性酸性フォスファターゼおよび前立腺特異抗原の免疫酵素測定法.....	布施 秀樹・ほか	1813
前立腺癌に対する酢酸クロルマジノンの効果について.....	福岡 洋・ほか	1821
Latamoxef (LMOX), Cefoperazone (CPZ), Cefotaxime (CTX) の前立腺移行についての検討.....	竹内 宣久・ほか	1831
精上皮腫における胎盤性アルカリフォスファターゼの免疫組織化学的染色.....	白水 幹・ほか	1843
Stage II, III 辜丸腫瘍に対する VAB-6 療法の経験.....	飛田 収一・ほか	1849
辜丸腫瘍の化学療法時における $\alpha$ -Fetoprotein (AFP) 偽陽性について.....	飛田 収一・ほか	1859
男性不妊における精子授精能に関する研究—透明帯除去ハムスター卵精子侵入試験とヒト精子授精能—.....	浜口 毅樹・ほか	1867
塩酸パンバペリンの陰基海綿体局注後の勃起状態に対する塩酸エチレフリンの効果.....	内田 豊昭・ほか	1879
Aztreonam による急性単純性膀胱炎患者の <i>Escherichia coli</i> の形態学的変化について(英文).....	津ヶ谷正行・ほか	1883
神経因性膀胱に対する改良型回腸開放弁膀胱固定術による排泄機能改善に関する研究.....	塩見 努	1887
第35回 泌尿器科中部連合総会シンポジウムII		
膀胱癌の診断と治療における最近の進歩 司会のことば.....	久住 治男	1903
膀胱腫瘍に対する膀胱保存的手術の進歩と問題.....	松田 稔・ほか	1904
膀胱腫瘍の診断におけるフローサイトメトリーの応用.....	松浦 健	1917
進行性膀胱癌の多剤併用化学療法.....	清原 久和	1925
浸潤性膀胱癌の治療成績.....	宮川美栄子・ほか	1931
膀胱腫瘍の光力学的レーザー治療.....	三崎 俊光・ほか	1941
膀胱癌の抗癌剤感受性試験 —ヌードマウス実験系による—.....	山内 民男・ほか	1949
尿路上皮悪性腫瘍における抗癌剤感受性試験 —human tumor clonogenic assay を中心として—.....	内藤 克輔・ほか	1959
泌尿器科紀要第32巻 総目次・物件索引・人名索引.....		i~xxxxxiii

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.  
Department of Urology, Faculty of Medicine,  
Kyoto University, Kyoto Japan 606  
京都大学医学部泌尿器科学教室

## 購 読 要 項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込みば所定の用紙を送付します。

## 投 稿 規 定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
  2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
    - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
    - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書(ワープロ可)、当用漢字、現代かなづかい、平がなし、清書する。年号は西暦とする。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプ(手書き不可)する。
      - (イ) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。  
例；山田・ほか：前立腺がん・PSAP
      - (ロ) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。
    - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す
    - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %,  $^{\circ}$ C などとする。
    - (5) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などは各々台紙に添付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1 ..., Fig. 2 ..., Table 3 ... などと記載する。説明文は英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリ
- 編集委員： 石神 稔次            前川 正信  
              園田 孝夫            友吉 唯夫
- ミソグシ、図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。  
(例；山田<sup>1,2,7)</sup>、田中<sup>1,2-10)</sup>によると)  
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年  
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
  - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
  - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
  - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲 載
    - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
    - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
    - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
  4. 別刷：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。  
宮崎 重            新谷 浩  
吉田 修(主 幹)